

25mm

見本 (最初のページのみ1行あける)

部門・支部合同講演会講演論文集の原稿見本 (15pt)

材料大学 ○日本太郎* 材料大学[院] 材料花子** (11pt)

Instructions for the Preparation and Format of a Manuscript (13pt)

Taro NIHON* and Hanako ZAIRYO** (11pt)

* *Materials Science and Engineering Department, Zairyo University,
1-101 Yoshida-izumidono-cho, Sakyo-ku, Kyoto 606-8301, Japan*

E-mail: taro@zairyo-u.ac.jp

** *Production Engineering Department, Zairyo University,
1-101 Yoshida-izumidono-cho, Sakyo-ku, Kyoto 606-8301, Japan*

E-mail: hanako@zairyo-u.ac.jp

(本文とは1行あける.)

1 緒 言

原稿は、日本材料学会学術講演会講演論文集の原稿フォーマットを基本としてA4用紙に25×51行×2段で約2500字程度、横書き(刷上がり1ページに相当)2~6ページに執筆して下さい。

2 原稿の執筆上の注意

2.1 マージン A4用紙に、左右20mm、上部25mm、下部22mmのマージンを確保し、この枠内に原稿を作成して下さい。本文は2段組とし、コラム幅80mm、コラム間隔を10mmとします(本見本の灰色の枠線は書式参考用に入れてあるので、本原稿には記載しないようにして下さい)。

2.2 題名、著者名、所属および連絡先 次に示す要領で記載して下さい。

- (1) 講演題名 (15ポイント)、所属と著者名 (11ポイント)
- (2) 英文題名 (13ポイント)、英文著者名 (11ポイント)
- (3) 英文所属と連絡先 (11ポイント、イタリック)

講演題名から英文連絡先までは中央揃えとします。著者が複数の場合は講演者名の前に○印をつけて下さい。英文所属と連絡先には著者の所属と連絡先住所および電子メールアドレスを記載して下さい。

2.3 本文 本文は和文または英文でご執筆下さい。本文のフォントサイズは9ポイントで、1コラムの文字数は全角で25文字程度、行間隔は14ポイント程度として下さい。参考文献は引用箇所の肩に1) 2) 3)のように番号をつけて文献を本文末にまとめて下さい。書き方は日本材料学会誌「材料」の原稿執筆上の規約に準じますが、講演論文集の原稿の場合は簡略表記でも構いません。

2.4 図表 図表を本文で引用する場合は、図(写真を含む)については、Fig.1, Fig.2のように、また表はTable1, Table2のように引用して下さい。なお、図表中の説明、キャプションは原則として英語とします。本作成見本のように用紙にそのまま貼り込める大きさに用意し、本文中の説明と離れない位置に貼り付けてください。図・表どうし、あるいは図・表と本文は1行以上間隔をあけるようにして下さい。図表はカラーでも構いませんが、印刷は白黒となります。図表中に黄色、青などのうすい色を使用されますと冊子体には写りませんのでご注意下さい。

3 講演発表

講演発表でご使用頂く機器はPCプロジェクターです。

参考文献

- 1) O. Kohda, "Study of metal fatigue", Journal of the Society of Materials Science, Japan, Vol.54, No.1, pp.123-128 (2005) ..
- 2) H.Harada and T.Yoshida, Proc. M. Soc., A-123, 321(1999).
- 3) C. Kittel, "Introduction to solid state physics", pp.56-87 (1976) John Wiley & Sons.

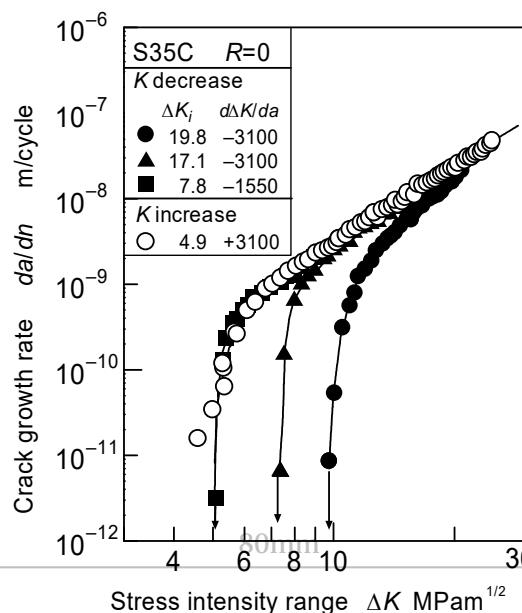


Fig.1 Relationship between da/dn and ΔK.

20mm

80mm

10mm

20mm

22mm

